



見てる、知ってる、考えてる
中島芭旺／サンマーク出版

ネットでつぶやく言葉が深すぎると話題沸騰の10歳の男の子『中島芭旺(なかしまばお)くん』が書いた自己啓発本。いろんな感情の中で芭旺くんがもっとも大切にしているのは「勇気」。この本で大人の常識がひっくり返るかもしれません。



手のひらの京
綿矢りさ／新潮社

京都の春夏秋冬があざやかに息づき、奥沢家三姉妹を描く綿矢版「細雪」と言われている小説。おっとりした長女・綾香、恋愛に生きる次女・羽依、自ら人生を切り拓く三女・凜。生まれ育った土地、家族への尽きせぬ思い。かけがえのない日常の中で三姉妹は果たして？



金山杉俳句会報 第三九八回

母の灯の恋しき日なり吾亦紅
古里の便り届けり今年米
青空市人にもまれて茸買ふ
優しさも時には疎し葉げいとう
幼児の指に羽根置く赤とんぼ
デイケアの風船バレー秋日和

セイ子
サダエ
敏子
恵美子
よし子
順子

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
亡き夫へまずは一献秋收め
横たはる自由気儘な牽牛花
荒屋 関 喜美子
草紅葉雨後の日差しを待つ如く
柿のれん父の面影見え隠れ
菅越 庄司けみ子
秋晴れや散歩つらなる道の端
がっこそば客で賑はふ秋の天
七日町 青柳キエ子
天高し一ト日都の人となり
幾つもの橋をくゞりて秋惜しむ

七日町 柴田 栖静
琴の音の流るゝ園や草紅葉
暫し息のむや夕日の紅葉川
羽場 坂本徳太郎
共白髪言の葉ならぶ敬老日
老人の葉タイムや秋の旅
上台 阿部 一
秋晴れの一日のがさぬ野菜摘み
渦巻ける風に乱舞の木の葉かな
七日町 村松 恣風
祝 岸前参議院議員様への感謝会
勲功を讃ふる郷の天高し
無心なり皺手の妻の毛糸編み

新刊図書 12月

- 日本の365日季節の道しるべ／日本気象協会
- 白衣の嘘／長岡弘樹
- 見てる、知ってる、考えてる／中島芭旺
- のんで東北たべて東北／杏耶
- 手のひらの京／綿矢りさ
- 危険なビーナス／東野圭吾
- まことの華姫／畠中恵
- ギネス世界記録2017／クレイグ・グレンディ

森の子ども図書 132 交流サロンぽすと内 12:30~17:00



『ママのスマホになりたい』
(のぶみ／作 WAVE出版)

ボクはブロックのすごいのを作ったんだ！ママに見てもらおうとママを呼んだら、ママはスマホばかり見ていて全然ボクを見てくれない。テレビのCMの間もスマホ見て、赤ちゃんが泣きやむとスマホ見て。ぼくは頭にきて何を聞かれても「わかんねえよ」って言うことを決めたり、段ボールでスマホ拒否の国を作ったりしたんだ。幼稚園では大人になったら何になる？」って先生から聞かれたから「ママのスマホになりたい」って言ったんだ…。でも本当は…。スマホとても便利なんだけどね…。でもね…。